

別紙様式 1

平成 25 年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立あすたむらんど	施設所在地	板野郡板野町那東字キビガ 4 5 - 2 2
指定管理者名	株式会社ネオビエント	指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日
施設所管課	にぎわいづくり課	【連絡先】	0 8 8 - 6 2 1 - 2 1 3 2

1 施設の概要

設置年月日	平成 1 3 年 7 月 1 日
設置目的	科学に関する体験及び人と人との交流の場を提供することにより、創造性豊かな青少年の育成及び県民の余暇活動の充実に資するため。
施設内容	吉野川めぐり、四季彩館、子ども科学館（プラネタリウム）、くつろぎ館、冒険の国、探検の国など
利用料金等	徳島県立あすたむらんどの設置及び管理に関する条例に定めるとおり
開館日・休館日等	8月12日から8月15日までを除く期間の水曜日（水曜日が祝日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）とする。

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①徳島県立あすたむらんどの設置及び管理に関する条例第 2 条各号に掲げる事業の実施に関する業務。</li> <li>②あすたむらんど施設等の維持管理に関する業務。</li> <li>③あすたむらんどの利用の許可に関する業務。</li> <li>④あすたむらんどの使用料の徴収に関する業務。</li> <li>⑤その他あすたむらんどの管理に関し、知事が必要と認める業務。</li> </ul>
------------	--

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 32 名 臨時職員 6 名   計 38 名
	正規職員：32名、パート・常勤：3名、パート・非常勤：1名、アルバイト・常勤：2名

4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	25年度	39,951	58,557	23,019	22,625	47,650	41,744	32,583	41,876	48,676	26,843	16,253	33,918	433,695
	前年度	46,871	54,490	19,464	28,866	54,195	37,889	36,315	34,149	38,575	24,023	21,133	40,599	436,569
	前々年度	42,869	58,356	14,906	34,630	52,095	29,245	55,873	35,409	34,964	22,951	13,719	30,820	425,837

月別使用料 収入 (千円) ※県の歳入		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	25年度	6,774	8,718	3,747	5,369	14,884	5,306	5,014	5,633	5,949	5,554	2,241	5,872	75,059
	前年度	7,736	9,158	3,189	7,468	17,731	5,465	5,957	4,451	3,678	5,193	3,290	6,845	80,161
	前々年度	7,848	9,475	2,888	7,426	16,292	5,086	6,472	4,273	3,851	4,242	1,957	6,285	76,095

施設毎 使用料収入 (千円) ※県の歳入		カイトタワー	吉野川めぐり	常設展示	プラネタリウム	イベント広場	計
	25年度	2,216	26,773	33,832	12,079	158	75,059
	前年度	3,145	28,662	35,578	12,641	135	80,161
	前々年度	3,090	26,304	34,085	12,508	108	76,095

## 5 収支の状況

(単位：千円)

項目		平成25年度	平成24年度(前年度)	平成23年度(前々年度)
収入	指定管理料	638,824	637,218	637,366
	利用料金収入	—	—	—
	事業収入	17,595	15,576	15,638
	その他	3,425	6,000	3,445
	計	659,844	658,794	656,449
支出	人件費	152,565	140,150	130,461
	管理運営費	450,223	456,036	463,914
	事業費			
	その他	54,300	54,675	51,265
	計	657,088	650,861	645,640
収支		2,756	7,933	10,809

## 6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	<p>消耗品等の在庫を把握するために整理整頓チームを組織し、在庫を可視化することで、効率的な物品の購入に努めている。</p> <p>環境推進グループにより、施設や遊具の軽微な修繕を実施することで、コストを削減している。また、イベント造作物の製作担当部門を立ち上げ、指定管理者においてイベント造作物を作成している。</p> <p>引き続きLED照明の導入を進めることで、施設の省電力化を図っている。</p>
サービス向上の取組	<p>環境と健康をテーマに第5回「あさんウォーキングフェスタ in いたの」を開催。</p> <p>学校の春休み、夏休み期間中及び年末年始等の休園日を臨時開園。利用者のニーズに合わせて弾力的な運営を行った。</p> <p>12月には子ども科学館を夜間開館し、「サイエンスホラー」と題した科学的な要素を加味したお出かけ屋敷イベントを実施。</p> <p>「あすたむ宝さがし」や「親子で挑戦スタンプラリー」等、利用者参加型のイベントを随時実施。</p> <p>園内の移動手段として、「リスボンバス」を運行。</p>

## 7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月8日の「木の日」にちなみ、森林が持つ役割を説明するパネル展示や、樹木をチェックポイントとしたウォークラリーといったイベントを開催した。</li> <li>・「県民と働く者のとくしまフェスタ」を開催し、キャラクターショーやスタンプラリーを実施した。</li> <li>・「四国放送まつり」及び「四国放送まつりイベントあすたむバンドコンテスト」を実施した。</li> <li>・園内の移動手段として、「リスボンバス」を運行した。</li> </ul>
----------	--

## 8 管理運營業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	インフォメーションセンター、四季彩館及び子ども科学館において定置式アンケートを実施し、その結果をサービス向上委員会に諮ることで、利用者ニーズへの適切な対応が図られている。 大型商業施設での宣伝活動や、ホームページなどインターネットを活用した情報発信を行い、施設の利用促進に努めている。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	提出された業務計画書に基づき、効果的に実施できている。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	修繕等年次計画に基づき適正な維持管理がなされている。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	B	入園者数、使用料収入ともに前年度実績を下回ったものの、良好な状況である。 物品の在庫の可視化や担当部署の設立、引き続き照明のLED化に努める等、コスト削減に取り組んでいる。
⑤管理運営体制等 ・管理運營業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	出勤簿により、職員が適正に配置されていることを確認した。 危機管理研修、利用者サービス研修、観光セミナー研修等の職員研修にも積極的に取り組んでいる。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	業務体制報告書に記載されたとおりの体制が確保されている。 適切に休日が確保されており、超過勤務についても、命令簿により適切に管理されている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	職員・スタッフのほとんどを地元採用している。 業務委託については地元企業への委託を優先している。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	地元自治体や企業で組織されている「あさんミュージアムウォーキングフェスタ in いたの」の実行委員会」で、環境と健康をテーマに「あさんウォーキングフェスタ in いたの」を開催した。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	事故発生時などの緊急連絡体制が整備されている。また、事故などが発生した場合には、瑕疵の有無にかかわらず、社内で周知報告がなされている。 火災、地震などあらゆる事態を想定した防災マニュアルが整備されており、防災訓練の実施等により職員教育がなされている。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	エコアクション21の認証を受けるなど、積極的に環境への配慮のための取り組みを行っている。 また、「あすたむごーヤー緑のカーテンプロジェクト」といった環境問題を学びながら体験できる参加型企画を実施している。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	関係法令を遵守し、法定点検など適正に行われている。 情報公開に関する規程を整備している。
総合評価	A	今年度は、入園者数、利用料金収入ともに前年度を下回る結果となったものの、良好な状況であり、概ね協定書の内容どおり、適切な管理運営が行われていることが確認できた。

- 〈評価指標〉 S : 協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。  
A : 概ね協定書の内容とおりの成果があり、適正な管理が行われている。  
B : 協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。  
C : 管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

## 9 その他（今後の課題及び対応等）

- ・開園以来10年以上経過し、施設・遊具などの老朽化が顕著となっており、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行っていく必要がある。
- ・「快適・創造空間」の検証と改善を実践することで、ハード・ソフト両面の内容や質の充実と向上を目指す。